

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたありっとサービス ステップ東住吉		
○保護者評価実施期間	令和7年2月 17日		～ 令和7年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年2月17日		～ 令和7年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	STを配置した言語訓練を主とした個別訓練の実施	STの職員を中心とした個別訓練をほぼ毎日実施。 STだけでなく、他のスタッフも1対1の療育に携わり、 利用者様の課題に応じた支援を実施。	専門職であるSTがさらに専門的支援に 専従できるように職員の増員を検討。
2	保護者様との情報共有	連絡帳だけに留まらずに送迎時の細かな情報共有や 連絡ツールを用いてその日の様子や 訓練での良かった点や課題点を細かく情報共有している。	保護者様との間だけでなく教育機関や関係機関との 情報共有も強化し、利用者様や保護者様を総括的に サポートしていけるように努めていく。
3	支援員の研修機会の充実	月に1回必ず研修会を実施。 大学の先生方と連携をしながら PBS(ポジティブ行動支援)について学ぶ機会を 設けている。	大学の先生方との連携を強化し、職員同士がより 共通認識、共通理解のもとをPBSを 実走できるように努めていく。 月1回の研修に加えて自由に参加できる社内、社外研修の 情報発信を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より手厚い支援を施すための人員確保	人材採用の強化 職員が安心安全に職務を遂行できる環境づくり	・人事部と連携(既に進行中) ・積極的な人材採用 ・入社後のフォロー体制の整備
2	設備および物資の老朽化	長年の施設運営が原因	・壁紙は一度剥がれるとそこから剥がれてきてしまうため 塗装することを検討 ・物資の調達(すでに一部購入)
3	集団療育プログラムの種類の乏しさ	療育グッズの乏しさ 療育における話し合いの場の少なさ	・療育グッズの購入(すでに一部購入) ・会議日の設定 ・外出プログラムの検討

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 すたありっとステップ 東住吉

公表日 令和7年4月1日

利用児童数 35名

回収数 31名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	5	皆が大きくなってきたので、狭く感じるようになった。	部屋の配置を見直して使いやすいお部屋にしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	0	7	ssstしか利用していないので分かりません。	適正な配置はしておりますが、より手厚い支援ができるような工夫をまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	3	1	3	用途に合わせて部屋を分けているので、わかりやすく気持ちの切り替えが出来ると思った。	子どもたちが楽しく遊べる空間づくりを進めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	0	0	0	個別指導では良い支援を受けれていると思う。	引き続き、支援の質の向上に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	1	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	3	4	4	何をしているか分からない。	連絡帳や保護者様との連絡ツール、送迎時の引継ぎ時などで更に情報発信できるよう努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	0	5	14		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	2	2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	3	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	0	5	13		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1	0	1	送迎時に子どもの様子や動きを詳しく教えて頂いており、安心しています。	継続して情報共有を徹底してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	0	8	18		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	0	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	1	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	3	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	0	4		避難訓練・防火訓練は定期的に行っていますが、情報発信が少ないのかもしれないので、きっちり連絡帳等で報告していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	2	0	4		避難訓練・防火訓練は定期的に行っていますが、情報発信が少ないのかもしれないので、きっちり連絡帳等で報告していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	1	最初は不安でしたが、長くお世話になっていますので、安心して通所しています。	引き続き安心して通所していただける環境を作って参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	0	0	1	何の抵抗もなく普通に行けています。	今後も子どもたちの楽しいを追求していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	1	1	言葉も増えてきて、落ち着いて学校に行っていることに感謝しています。	引き続き、子どもたちや保護者様に満足いただける支援を追求していきます。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		すたぁりっとステップ 東住吉				公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	5	社内の他事業所からの応援スタッフなどでカバーしている。常勤スタッフの増員のため社内の人事部と協力して求人にか力を入れている。	常勤専従のスタッフだけでは足りない日がある。応援のスタッフはスポットであるため常勤の数を増やしていきたい。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	壁紙の張替えを予定。楽しく過ごせる場を提供できたらと思う。	壁紙が破れてきている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	大型遊具設置予定。活動的に楽しく遊べる空間づくりすお検討。	支援グッズやおもちゃが古くなってきている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	中身の内容が適切に実施されているかは、内部でのチェックチームで確認されている。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		言語・コミュニケーションに特化されているが、総合的な療育がなされているかは疑問を感じる。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	会議などでプログラム内容の拡充を検討していく。	玉入れ・サーキット・絵本の読み聞かせのみで療育プログラムがない。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	3	会議などでプログラム内容の拡充を検討していく。	週ごとにプログラム内容は決まっている。療育プログラムの幅を増やす必要があると感じる。中身の内容のバリエーションを増やす必要があると感じる。同じプログラム内容を繰り返しおこなっている。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	スタッフ間で話す時間をあらかじめ決めて実施していく。	もう少し、支援内容の話し合いが欲しい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	必要に応じて連携を図っていく。	あまり学校と連絡を取り合うことがない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	3		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	3		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	3	スタッフ間で話す時間をあらかじめ決めて実施していく。	スタッフ間で共有する場が欲しい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたありっと ステップ東住吉		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 18日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 18日		～ 令和7年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	STを配置した言語訓練を主とした個別訓練の実施	STの職員を中心とした個別訓練をほぼ毎日実施。 STだけでなく、他のスタッフも1対1の療育に携わり、 利用者様の課題に応じた支援を実施。	専門職であるSTがさらに専門的支援に 専従できるように職員の増員を検討。
2	保護者様との情報共有	連絡帳だけに留まらずに送迎時の細かな情報共有や 連絡ツールを用いてその日の様子や 訓練での良かった点や課題点を細かく情報共有している。	保護者様との間だけでなく教育機関や関係機関との 情報共有も強化し、利用者様や保護者様を総括的に サポートしていけるように努めていく。
3	支援員の研修機会の充実	月に1回必ず研修会を実施。 大学の先生方と連携をしながら PBS(ポジティブ行動支援)について学ぶ機会を 設けている。	大学の先生方との連携を強化し、職員同士がより 共通認識、共通理解のもとをPBSを 実走できるように努めていく。 月1回の研修に加えて自由に参加できる社内、社外研修の 情報発信を進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	より手厚い支援を施すための人員確保	人材採用の強化 職員が安心安全に職務を遂行できる環境づくり	・人事部と連携(既に進行中) ・積極的な人材採用 ・入社後のフォロー体制の整備
2	設備および物資の老朽化	長年の施設運営が原因	・壁紙は一度剥がれるとそこから剥がれてきてしまうため 塗装することを検討 ・物資の調達(すでに一部購入)
3	集団療育プログラムの種類の乏しさ	療育グッズの乏しさ 療育における話し合いの場の少なさ	・療育グッズの購入(すでに一部購入) ・会議日の設定 ・外出プログラムの検討

## 公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 すたありっとステップ 東住吉

公表日 令和7年 4月 1日

利用児童数 4名

回収数 2名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	0	0	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	0	0	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	2	0	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	2	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	0	0	2	



	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		すたありっとステップ 東住吉		公表日		令和7年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	今後幼児用の保護便座の準備を検討いたします。	トイレが大人のままで使用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	今後幼児用の保護便座の準備を検討いたします。	トイレが大人のままで使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	4			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	4		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	3		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	2		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	4			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	3			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	3		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	1	4		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0			